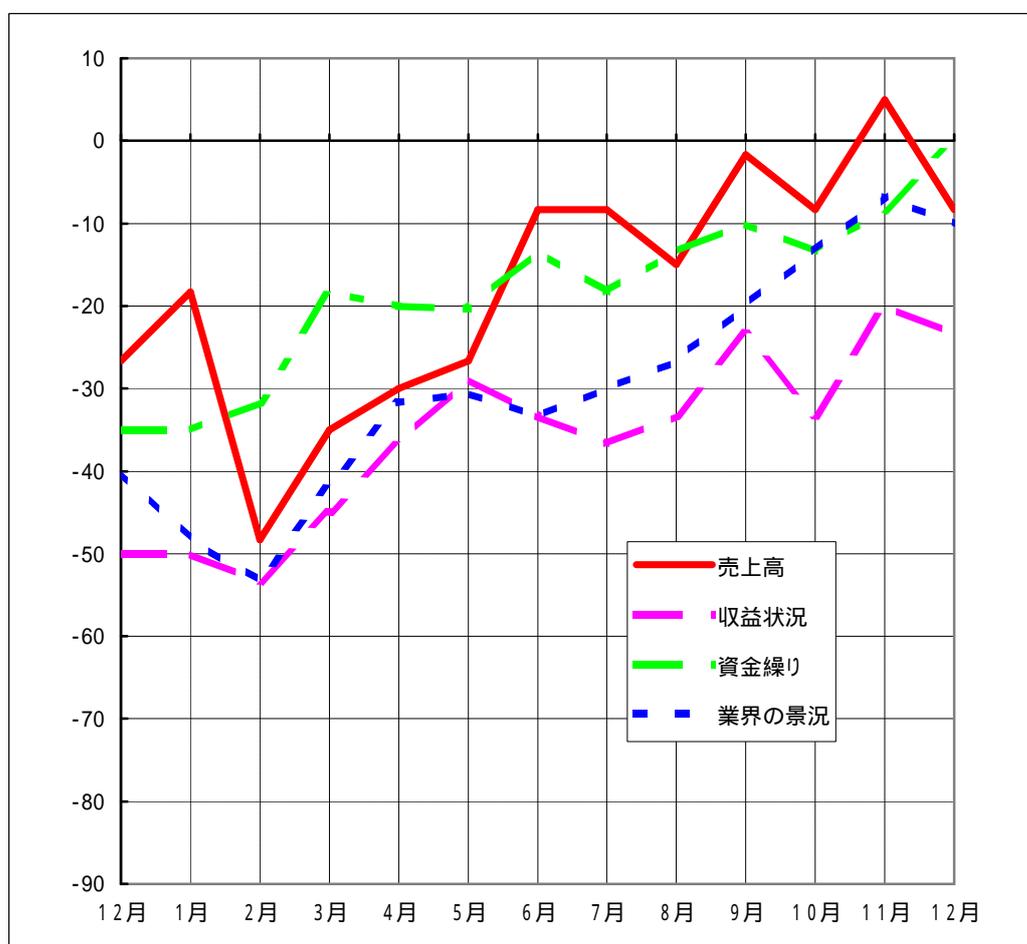


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成16年12月～平成17年12月

単位:ポイント



	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	-26.7	-18.3	-48.3	-35.0	-30.0	-26.7	-8.3	-8.3	-15.0	-1.7	-8.3	5.0	-8.3
収益状況	-50.0	-50.0	-53.3	-45.0	-36.7	-28.8	-33.3	-36.7	-33.3	-23.3	-33.3	-20.0	-23.3
資金繰り	-35.0	-35.0	-31.7	-18.3	-20.0	-20.3	-13.3	-18.3	-13.3	-10.0	-13.3	-8.3	0.0
業界の景況	-40.0	-48.3	-53.3	-41.7	-31.7	-30.5	-33.3	-30.0	-26.7	-20.0	-13.3	-6.7	-10.0

12月のDI値をみると、前年同月より全項目で好転したが、平成16年10月23日に発生した新潟県中越地震の影響を考慮する必要がある。各DIについて、単純に比較をすれば「売上高」DIは前年同月より18.4ポイント改善し、マイナス1桁台に推移した。「収益状況」DIにおいては、26.7ポイント改善し、マイナス20.0%台に推移した。「資金繰り」DIは、35.0ポイント改善し、0ポイントに推移。「景況」DIは前年同月より30.0改善し、マイナス10.0%に推移した。ここ3カ月の景況は、一進一退に推移している。

組合の特記事項からは、製造業では、「鉄鋼・金属」の一部で組合格差はあるが安定した受注があるとの報告がある。だが、他の多くの製造業では大雪によるマイナスの影響、低コスト・短納期の受注等で厳しいとする報告も多い。

非製造業では、「卸売業」「運輸業」の一部で中越地震に依る復興需要増とする報告があるが、それ以外の非製造業の多くでは、大雪や大停電による影響、市場の縮小とデフレの影響また中越地震の影響により厳しい状況が続いている。

新潟県内の中小企業は、一部で持ち直しに向けた動きがみられるものの、楽観視できず総合的にほとんどが景気回復を実感できない状況にある。